学校番号	121

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　社会と情報　（東京書籍）						
副教材等	３０時間でマスター　Office2016　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・LAN 教室での実習を通してコンピュータやネットワークについて学び、日常使っているコンピュータに対しての理解を深めるとともにスキルアップをめざしましょう。
・コンピュータやインターネット、新しいメディアや情報システム等について学習する中で、多様な考え方を身につけ、情報社会でいきる力をつけましょう。

2　学習の到達目標

・情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。
・情報社会の発展について学習した上で、情報の収集・発信における問題点を理解し、適切な情報発信ができるようになる。
・情報社会の持つ課題について考え、情報社会に主体的に参画する態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 実習作品・発表 相互評価 自己評価	学習状況の観察 実習作品・発表 定期考査	学習状況の観察 実習作品・発表 実技テスト	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会の課題を考える	○インターネットにおけるのめり込み ○個人情報やプライバシーを守る ○情報セキュリティに気をつける ○相手を傷つけない ○慎重に投稿する ○著作権 ○情報を扱う責任	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ 	a:情報社会に関心を持ち、知識を深めようとしている。 b:自らの経験等をふまえ、情報社会の課題に対して判断し、多様な考え方を身につける。 c:情報の安全性や情報社会での行動に伴う責任について学んだうえで、情報を扱う側として活用できる。 d:情報社会における課題の意義を考え、情報社会に参画するために必要な知識を身に付け理解している。	授業観察 授業態度 ワークシートへの取組み 定期考査
	情報で暮らしが変わる	○日常の中の情報システム ○情報化と社会の変化 ○誰もが情報を利用できる社会 ○システムの信頼性 ○問題解決	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:情報技術の発展がもたらす生活や社会の変化に関心をもち、ネットワークを活用して情報を収集することができる。 b:情報の収集のために必要な手段を考え、判断できる。 発信するためにどの形式で表現するのかを判断できる。 c:問題解決のためにネットワークや情報機器を活用できる。 集めたデータを処理し、発信するために整理し表現できる。 d:データの収集や処理を行い、解決策に向かう中で問題解決のための一連の流れを理解できている。	授業観察 実習態度 制作課題 定期考査

2学期	ネットワークを探索する	○情報の信頼性 ○コミュニケーション手段の発達 ○コミュニケーションの特徴 ○上手なネットコミュニケーション	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:メディアを使った情報発信および、ネットワークを使ったコミュニケーションに関心を持ち、それらを活用しようとしている。 b:情報発信やコミュニケーションの際に生じる情報の送受信について多様性を持った考え方を身に付け、活用の在り方を適切に表現している。 c:ネットワークコミュニケーションについて、自らの考えを情報機器を用いて表現し、発表することができる。 d:メディアやネットワークコミュニケーションについて理解する中で、情報社会におけるあるべき行動や態度についても理解を深めることができる。	授業観察 実習態度 制作課題 定期考査
	情報を表現する	○情報とさまざまなメディア ○ネットワークで広がる世界 ○情報の共有 ○ディジタルデータの特徴 ○ディジタルの世界 ○数値と文字のディジタル化 ○画像のディジタル化	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:メディアの発達について関心を持ち、今と昔を比較しながら、新しいメディアやネットワークサービスを活用しようとしている。 b:生活への影響や変化について、身近な情報機器やネットワークから考えを深め、活用方法などを判断している。 c:情報システムやネットワーク、利用するサービスなどの基礎的な技能を身に付け、情報を適切に処理することができる。 d:コンピュータやネットワークの仕組みについて、日常生活と結び付けて理解している。	授業観察 授業態度 ワークシートへの取組み 定期考査
3学期	活動して提案する	○プレゼンテーション（総合実習） テーマ 「身の周りの情報モラル」 ・問題解決の手順 ・問題の定義 ・情報検索と収集、分析 ・発表用資料作成 ・問題解決の評価と改善	○	○	○	○	a:情報収集や討議に積極的に参加する。 b:プレゼンテーションの構成を考えられる。 c:プレゼンテーションを行う。 発表用スライドを作成できる。 d:スライドにまとめて情報発信が行えることを理解する。	授業観察 グループワーク 実習態度 発表 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。